

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和2年1月16日(2020.1.16)

【公開番号】特開2019-205175(P2019-205175A)

【公開日】令和1年11月28日(2019.11.28)

【年通号数】公開・登録公報2019-048

【出願番号】特願2019-117432(P2019-117432)

【国際特許分類】

H 04 N 21/238 (2011.01)

G 06 F 13/00 (2006.01)

【F I】

H 04 N 21/238

G 06 F 13/00 520 B

【手続補正書】

【提出日】令和1年10月23日(2019.10.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

クライアントデバイスがメディア取り込みシステムからメディアデータストリームを受信する通信システムにおいて、

前記メディア取り込みシステムにおいて、前記メディアデータストリームと関連付けられたメディアプレゼンテーション記述(MPD)ファイルを提供することと、

前記メディアデータストリームが前記クライアントデバイスに送信されている間に前記MPDを動的に更新することと、

前記MPDが更新されていることを示すために前記メディアデータストリーム内に信号を挿入することと、

を備える方法。

【請求項2】

クライアントデバイスがメディア取り込みシステムからメディアデータストリームを受信する通信システムにおいて、

前記クライアントデバイスにおいて、前記メディアデータストリームと関連付けられたMPDが更新されていることを示す信号を前記メディアデータストリーム内で検出することと、

前記メディア取り込みシステムに前記更新されたMPDの要求を送信することと、
を備える方法。

【請求項3】

クライアントデバイスがメディア取り込みシステムからメディアデータストリームを受信する通信システムにおいて、

前記メディア取り込みシステムにおいて、前記メディアデータストリームと関連付けられたメディアプレゼンテーション記述(MPD)ファイルを提供することと、

有効性インジケータ及び時間間隔を前記MPD内で提供することであって、前記インジケータは、前記MPDが前記時間間隔にわたって有効であることをシグナリングすることと、

を備える方法。

【請求項 4】

クライアントデバイスがメディア取り込みシステムからメディアデータストリームを受信する通信システムにおいて、

前記クライアントデバイスにおいて、前記メディアデータストリームと関連付けられたメディアプレゼンテーション記述（MPD）ファイルを受信することと、

有効性インジケータ及び時間間隔を前記MPDから抽出することであって、前記インジケータは、前記MPDが前記時間間隔にわたって有効であることをシグナリングすることと、

前記時間間隔と現在の提示時間の比較に基づいて前記MPDが有効であることを確認することと、を

備える方法。